後編

河内老嫗火

近江手負村

敵討両輛車

通油街仙鶴堂版

上

へ13
2946
211

文化二乙丑六月稿成
同三丙寅正月發行

京傳作

211
へ13 特
2946
211

三上山

白山
ひえの山
やだせの川

日くれつゞいてやうやく小一あとの色さるあふけく
のやうあつ大ねづこさしのうちよりわれは
くしひつゝんやうとあらはしいでゝ
ろうとまとぬいてきゝんと世ふ
大ねづこはつりまセんのふねづこを
しるとやー塚内が刀うちおとび
うりてくひつきくれいものさこ
こらうくもべくもさこくこ
さるこゝとむけくもめいく
とれよりかのぐとあけさう
ちこふよう日ようこそこうこ
うさいてきくいつこくこと
もてきこそせひあくてこれの
あんどんふようにはいスあ月ア
ちこうふかのうこ三十スあつこ
こくこうこうこうこうこ
いこくりあでりかくて音四
一せんのさくわへもあくあうえば
あようこ二ねんこうこうよくあうく
とさこまよひくさくこ今さ
うづくんとのくさくこそう

按ニ三本草ニ隱鼠山林ノ中ニアリ
大サ水牛ノ如シトあるハふさねづこ
とくんじてくちねづこネこまろ
ハ大ねづこまろさくこいいちが
おん移んまるべーこ井のちいづこ
あるゆうのこくひ